

最期まで由仁びとでいよう 由仁町発、未来の在宅医療

誰もが住み慣れた住まいで、
最期まで暮らし続けられる町へ

2025年11月28日
在宅医療推進フォーラム in 由仁

国民健康保険由仁町立診療所
所長 島田啓志

北海道郡部で地域医療を実践したい

41歳 医師18年目 由仁在住8年目

2008年 札幌医科大学卒業
2008-2017年 佐久総合病院・札幌市内で研修

2018年より 由仁町立診療所
2025年6月- 由仁町立診療所所長

在宅医療専門医・家庭医療専門医・緩和医療専門医 等

郡部唯一の「三刀流」として、地域を支え続けてきた歴史

由仁町立診療所は、病院から有床診療所になってから、地域に必要な機能を磨いてきました

「地元で最期まで暮らしたい」という住民の想いに答えるため、私たちは、3つの核心的な機能を兼ね備える存在へと成長しました。

北海道郡部において、入院病床をもち、救急告示を守り、在宅緩和ケア充実診療所を満たす医療機関は**由仁町立診療所のみ**です。



私たちの約束：「断らない在宅医療」の実績

私たちの在宅医療は24時間365日対応です。由仁町、栗山町、長沼町全域をカバーし、多くの方の生活を支えてきました。

利用者：626人

お看取り：229人

臨時の往診：2480回



国民健康保険由仁町立診療所

診療実績(直近1年)

▶有床診療所（一般19床）

稼働率62%

平均在院日数16.5日

▶救急告示診療所

Walk-in 280人/年

救急車 145台/年

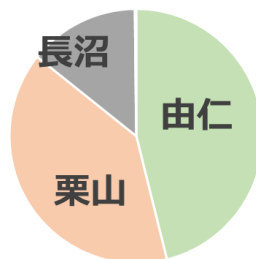
▶在宅療養支援診療所

訪問診療回数 2254回

臨時往診回数 397回

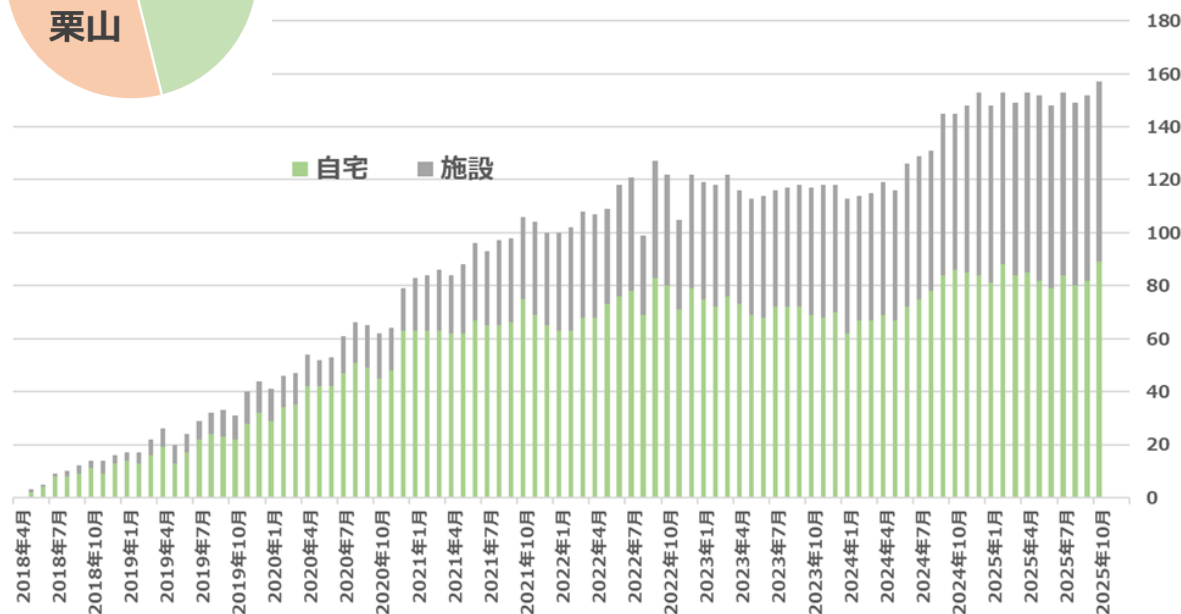
訪問看護回数 946回

在宅看取り 31名



診療診療利用者：約157名

訪問診療を実施した実人数



しかし、それだけでは、町の未来は守れない



在宅緩和ケアや看取りを
充実させるだけでは、地域
全体の課題は解決できま
せん。

私たちが、今向き合うべき
なのは、個別の医療を超え
た「地域全体の安心」を
どう支えるか、というより大き
な問いです。



地域が直面する、静かなる2つの危機

家族介護力の低下

ご家族が都会にいるケースが増え、
独居や高齢者のみの世帯が急増
しています。「夜間に具合が悪く
なっても、車を出すことすら難しい」
これが由仁の現実です。



制度の限界

現在の訪問診療は、契約した方
だけに提供される閉じた仕組みで
す。これからの由仁では、「契約者
だけを守る在宅医療」では限界が
来ます。



“契約者”から“地域全体”へ。ひらかれた在宅医療を目指す

暮らしの不安を減らすためには、地域全体を支える新しい仕組みが必要です。
私たちは、医療・看護・介護が一体となり、誰かが助けを求めた時に必ず答えられる。「地域全体にひらかれた在宅医療」を目指します。



すでに始動。「診療所駆けつけサービス」という挑戦

その第一歩として、ALSOKと連携した「診療所駆けつけサービス」を始めました。
80歳以上の世帯であれば、受診歴や訪問診療の契約がなくても、ボタン一つで
助けを呼ぶことができます。



不安時に
ボタンを押す



ALSOKガードマンが
駆けつけ



看護師・医師が対応



国民健康保険由仁町立診療所

国民健康保険由仁町立診療所

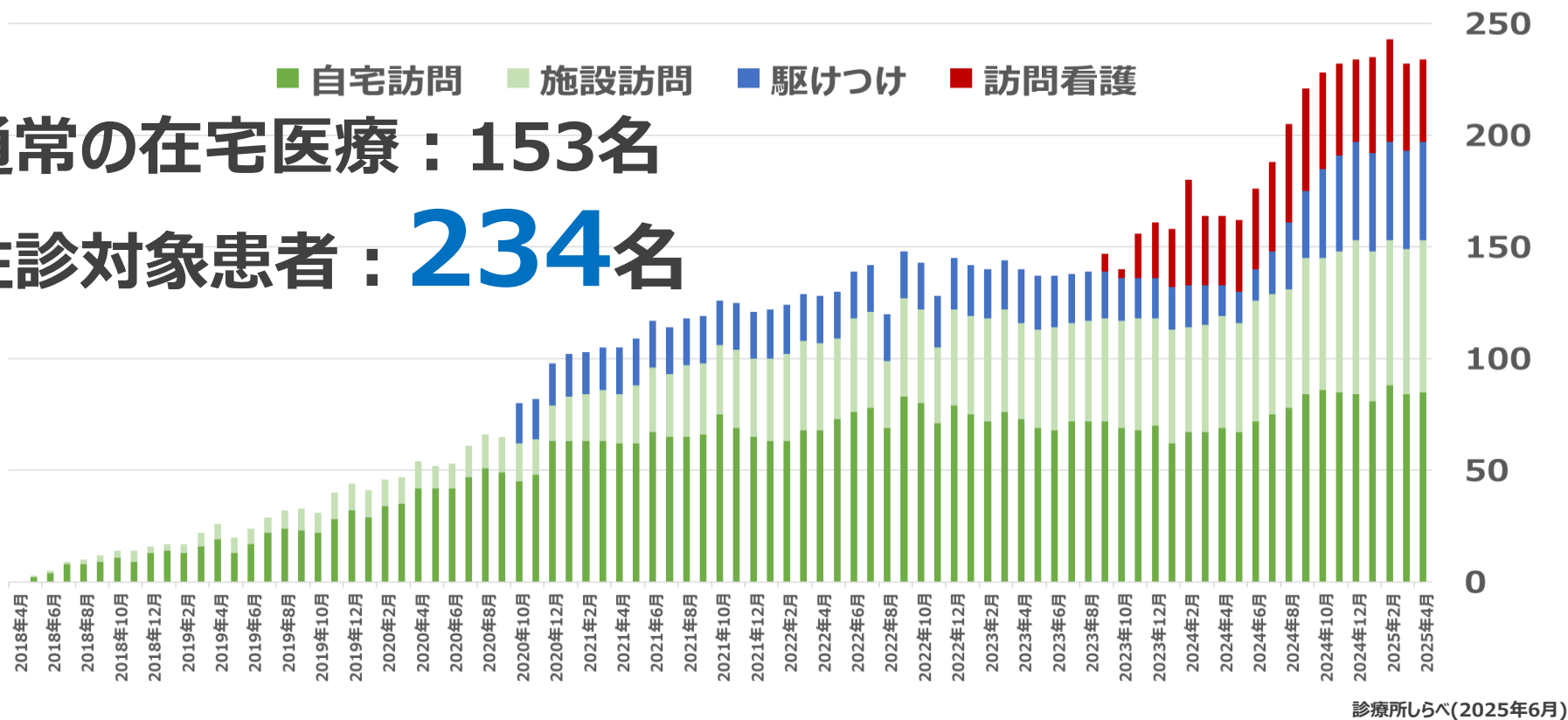


当院の診療実績

■ 自宅訪問 ■ 施設訪問 ■ 駆けつけ ■ 訪問看護

通常の在宅医療：153名

往診対象患者：234名



(診療報酬で認められる) 訪問診療は在宅医療の一部
在宅医療は地域医療の一部
地域医療は地域の一部

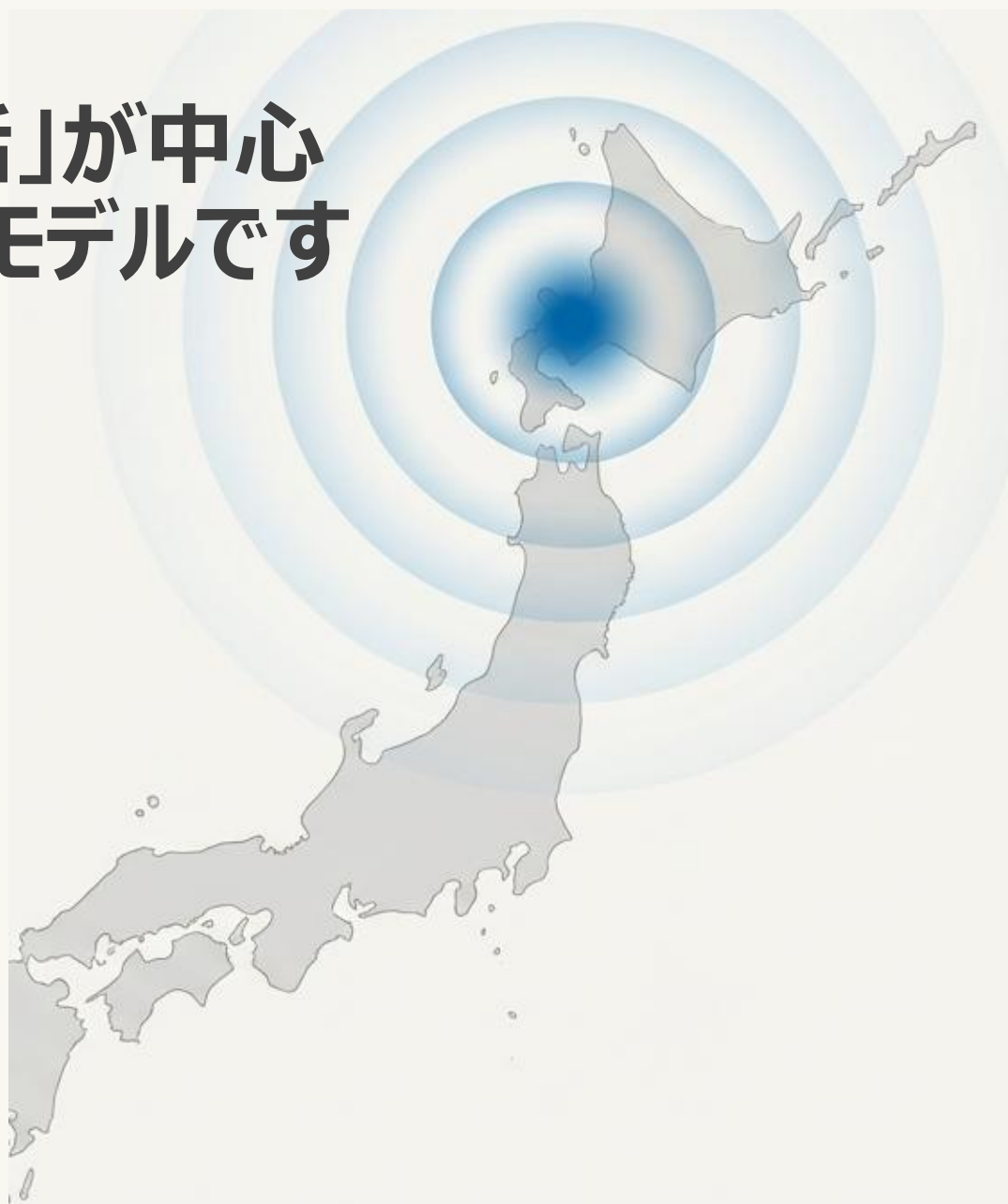
佐久総合病院 清水茂文先生

制度ではなく「生活」が中心 日本の未来を示すモデルです

「自宅で暮らし続けたい」という一人一人の気持ちに寄り添い、制度の壁をこえて生活を中心に考える。

この仕組みは、日本でもかなり先進的な取り組みです。

由仁はこれから、未来の地域包括ケアのモデルを示します



私たちが由仁町でめざす未来：3つの約束



安心の約束

介護保険を利用している方なら、誰もが24時間の往診を受けられる町へ



自律の約束

ご家族が近くにいらなくても、誰もが自宅で安心して尊厳ある暮らしを続けられる町へ



連携の約束

地域の困りごとに、医師・看護師・介護職が昼夜を問わずワンストップで駆けつける町へ。

この挑戦は、夢物語ではない

この未来像を実現するための「情報共有の土台」は、すでに地域に整っています。
南空知バイタルリンクや**診療所駆けつけサービス**といった仕組みを、地域の暮らしのために最大限活用することで、その連携を発展性をもって実現可能です。



新診療所は、地域包括ケアの「戦略拠点」となる

診療所の建替えは、この未来を実現する最大のチャンスです。新しい建物は、医療・看護・介護が一体となって動く24時間ワンストップ相談・駆けつけ体制の拠点となります。

限られた人材でも最大の効果を発揮する「地域療養支援」という新しい働き方を、この場所から始めます。



小さな町だからこそ、
日本のトップモデルになれる。

「由仁モデル」

大きな病院がないからこそ、由仁にはチャンスがあります。私たちの規模は、大都市では不可能なレベルの深い連携と機動力を可能にします。

「小さくてもキラリと輝く」全国トップレベルの地域包括ケアを
「由仁モデル」として、日本に新しい答えを示したいと考えています。



国民健康保険由仁町立診療所

“誰もが住み慣れた住まいで、最期まで”

私たちが目指しているのは、この当たり前の願いを、
この町で実現することです。

この新しい在宅医療は、診療所だけでは作れません。
ぜひ皆様と一緒に、
由仁の未来をかたちにしていきたいと思います。